

第5次多久市総合計画及び第2期多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）  
に関するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 令和2年12月25日（金）～令和3年1月25日（月）  
 (2) 応募者数・件数 1名・36件  
 (3) 提出方法の内訳 持参1名、郵送0名、ファックス0名、電子メール0名

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>1頁に、『本市が将来にわたって持続可能な発展を実現していくためには、市民と行政が手と手を取り合い、協働のまちづくりを進めることが重要です。』とあります。            ⇒ 全く同感です。是非、多久市役所・多久市長の強力なリーダーシップで『真の協働のまちづくり』へのさらなる取り組みを期待しています。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
2	<p>2頁に、『それぞれの計画期間内において、社会経済情勢の激変等により見直しが必要となった場合には、都度修正等を行います。また、本計画策定後は、行政評価により毎年度点検・検証を実施し、その結果を改善策に結び付けることで、徹底した基本計画の進行管理を行います。』とあります。            ⇒ このことは、第4次総合計画にも明記されていましたが、協働でまちづくりを行う市民に対しての広報・告知等が十分でなかったと感じます。第5次総合計画においても『見直し』が起きるものと予想されますが、その『市民への広報・告知』について判りやすい方策をお示してください。</p>	<p>毎年度実施する行政評価により、施策や事務事業の見直しを図り、その評価結果を市ホームページなどで公表することを予定しています。</p>
3	<p>3頁に、『「行政が何をどれだけ行うか」ではなく、「計画に掲げるまちの姿にどのくらい近づいたのか」、「それぞれの事業がどのくらい貢献したのか」を評価し、その結果を次の事業の企画や実施、予算配分等に反映していく仕組み（行政評価）を取り入れ、行政評価と連動した計画とします。』とありま</p>	

	<p>す。</p> <p>⇒ 此のことは全く同感で、また非常に重要なことだと思います。是非、真摯に客観的な評価を行って頂きたいと思います。各指標には『みんなで目指す』とありますから、その際は『市民も参画する評価の仕組み』を是非作って欲しいと思います。</p> <p>⇒ 夫々の施策・事務事業についての『計画書の策定』は行われますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の目的の明確化</li> <li>・目標の数値化と日程</li> <li>・具体的な推進</li> <li>・担当と関連部門・メンバー など</li> </ul> <p>客観的な評価にはこれは必須と思います。</p>	<p>行政評価では、各事業が、市（行政）と地域や住民、事業者などの役割分担が機能し、有効的に事業が実施できているかも評価する予定です。</p> <p>各々の施策・事務事業に関する計画は、各分野の個別計画に委ねますが、行政評価ではご指摘のような事項を明確にし、評価を実施する予定です。</p>
4	<p>6 頁に、本市には『5つの特性・地域資源』を有しているとあります。</p> <p>【特性1】孔子の里・文教のまち 多久</p> <p>【特性2】九州北西部の中央に位置するまち 多久</p> <p>【特性3】豊かな自然に囲まれたやすらぎのまち 多久</p> <p>【特性4】自然や文化、多様な定住機能を有するまち 多久</p> <p>【特性5】多彩な特産品のまち 多久</p> <p>⇒ 此の様な『特性・地域資源』を有しているのに、『人口構造・財政状況』の課題がいまだにあり続けている理由は何故なのでしょう？十分に活かしきれていないからではないのでしょうか？其れとも他を凌ぐ特性・資源ではないからなのでしょう？</p> <p>⇒ 課題の認識・気づきのみで終わることなく、また他責にするのではなく真摯に受け止め、計画達成に向け確実に実践すべきではないのでしょうか？</p> <p>⇒ 5つの特性について『客観的な評価』または『認知度評価』などはどの様な状況でしょうか？</p>	<p>全国的な人口減少やグローバル化の進展など、社会経済構造が大きく変化をしていく中で、本市の特性や地域資源を生かしながら、各種施策に取り組んでいるところですが、人口構造、財政状況ともに課題があることはご指摘のとおりです。この状況を真摯に受け止め、再度、本市の特性や地域資源をとらえ直しながら、総合計画で設定した目標の達成に向けて取り組んでいきます。</p> <p>【特性1】</p> <p>「文教のまち」を客観的な指標で測ることは困難ですが、市民アンケートでは、60歳未満で「子育て・教育環境が整っている」と</p>

		<p>回答した割合が高く、市の取組に対する市民の認知度は一定程度認められるところで す。</p> <p><b>【特性 2】</b> 長崎自動車道多久 IC の利便性という観点で、市内外の一定の認知があると判断しています。この特性をこれまで以上に活かし、とりわけ企業誘致において、IT 関連産業等を中心とする事務系企業など市内における多様な雇用の創出に取り組んでいきます。</p> <p><b>【特性 3】</b> 市民アンケートでは、65.5%が「自然環境が豊かである」との回答があり、自然環境の豊かさは多くの市民が認知するところで す。</p> <p><b>【特性 4】</b> 「地域特性の多様性」を客観的に評価することは困難ですが、各地域の特性は、移住希望者が抱える多様なニーズに応えうると考えています。</p> <p><b>【特性 5】</b> 「特産品に関する認知度」を評価するデータは把握できていませんが、ふるさと応援寄附返礼品など、一定の認知度の向上が認められるところです。</p>
5	<p>8 頁から、『第 4 次総合計画の振り返り・検証』を夫々行われています。</p> <p>⇒ 各指標ごと(全 8 7 項目)の検証結果を市民にも知らしめるべきと思います。</p> <p>* 優評価 2 5 項目はどれだったのでしょうか？</p> <p>* 要検討・評価なしが 2 1 項目ありますがどれだったのでしょうか？</p> <p>* 施策目標 4 に『評価なし』が 7 つもありますが、何故でしょうか？</p>	<p>各指標の検証結果は「資料編」への記載により公表します。</p> <p>なお、施策目標 4 に 7 つあるのは「要検討」の評価です。</p>
6	<p>2 4 頁・2 5 頁の『人口ビジョン』で示されている 4 つの基本方向について</p> <p>⇒ よく『多久市の財政は厳しい状況にある』と言われていますが、この 4 つの基本</p>	<p>人材については、職員数を計画的に管理し、職員研修などによる職員の能力向上を</p>

	<p>方向を実現するための『人材的・財政的な裏付け』はどの様に考えておられますか？それが無い計画は絵に描いた餅になります。</p> <p>⇒ 上記の『人口ビジョン④』に『今後の財政状況を見据え、、、まちの状況に対応した、身の丈にあったまちづくり』とは、市の歳入が減少したら計画に盛り込まれた様々な施策は不可能ということでしょうか？それとも、そうならないような市の財政(中期計画)になっているのでしょうか？</p>	<p>図ります。</p> <p>また、必要に応じ、地域おこし協力隊などの外部人材の活用を図ります。</p> <p>財政的な枠組みは「中期財政計画」をもとに「資料編」でお示しします。</p> <p>人口減少などの状況を鑑みながら、行政サービスのあり方を不断に見直し続けることを示しており、歳入が減少した場合に総合計画に盛り込まれた施策の実施をとりやめるという意図はありません。</p>
7	<p>26頁にある『消滅可能性都市』で、各年度に示されている不足分は『各種施策の実施による純移動数の増で補う』と記されています。</p> <p>⇒ 『純移動数』とは転入数から転出数を差し引いた数をいいますが、次頁の表によれば、既に令和2年において予測の19,108人と間に394人(令和2年12月時点)のギャップが生じています！『将来展望人口』の見通しは甘く、純移動数で補うのは不可能に近いと思いますが？</p> <p>※因みに『純移動数(人口動態実績)』の平成31年は転入809名、転出982名、令和2年(1月～12月)は転入が579名、転出が707名と転出が上回っています。従来の延長線にある『考え方・施策』では、人口減をくい止めるのは不可能と思いますが、如何でしょうか？</p>	<p>ご指摘のとおり、直近の純移動数は厳しい状況にありますが、将来展望人口は、2060年という長期的展望を示したものであり、5年前に設定した現行の人口ビジョンの将来展望人口の見直しには時期尚早と考えています。コロナ禍によるリモートワークの拡大などにより、地方移住の動きが見えつつあることも踏まえ、積極的に移住・定住施策を展開していく所存です。</p>
8	<p>P44の『図書館入館者数』の令和6年度目標数が1万2千人とあるが、民間運営に委託した際『2019年度は2018年度より約2千人多い1万2千人を目指す。』とあった。</p>	

	<p>⇒ 実績が9、000人となった理由は何か？</p> <p>⇒ また、令和6年度の目標数がこれ以上に伸びないのは何故か？</p> <p>これでは、民間委託の先にある『新図書館建設』を計画しても意味がないのではないか？</p> <p>⇒ 『新生活様式』により図書館利用はどう変化するとお考えでしょうか？</p>	<p>減少した要因の特定は困難な面がありますが、新型コロナウイルスの影響も否定できないと考えられます。</p> <p>過去5か年の利用状況が平均して1万人台であったことから、これまで設定していた1万2千人を最低限達成すべき目標として計上しています。</p> <p>今後とも図書館運営の改善に努め利用者の増加を図り、新図書館建設に繋げていきたいと考えます。</p> <p>利用者の安全確保のため、三密回避等の感染対策を徹底し、利用者に安心して来館頂けるような図書館運営(ルールづくり)が必要と考えます。また、将来的には図書館に来館しなくても図書館資料を活用できるような「図書館のあり方」の変化も考えられます。</p>
9	<p>デジタル社会に対応する施策がないように思います。【社会のデジタル化に対応するという中で、『他分野にもICTの活用を推進していく必要があります。また、テレワークの活用を通じて、場所にとらわれず仕事ができるという認識が広まりつつある中で、新たな人の流れをつくる機会にもつなげる観点からも、ICTの活用により、産業をはじめ、まち全体の活性化・利便性の向上を図っていくことが求められます。】と課題提起がありますが、その課題解決に向けての具体的な施策は何でしょうか？</p> <p>例えば、世代ごと・地域ごとなどで『IT勉強会』などを企画・実施したら如何でしょうか？</p>	<p>デジタル社会に対応する施策については、以下のページで包括的に表現しているところです。</p> <p>なお、ご提案の「IT勉強会」は市が主体的に実施すべき事業とは捉えていません。</p> <p>P103 2 ICTを活用した新たな産業の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商工会等と連携し、ICTを活用した地元物産等のPR・販売・販路拡大について検討・実施するとともに、キャッシュレス化推進など様々なICT活用策について検証し、展開します。</li> <li>●ワーキングサポートセンターを中心にICTを活用したクラウドソーシングワーカーを育成し、幅広い世代の収入の安定を図ります。</li> </ul> <p>P121 2 行政のデジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民目線に立った利便性向上を第一に、マイナンバー制度の活用とマイナンバーカードの機能発揮を通じた更なる普及のため、国のデジタル改革の動向に即した行政手続のデジタル化を推進していきます。</li> </ul>

1 0	<p>最近、市内でドローンを活用した物資運搬に関する実証実験が行われていますが、これからの高齢化・過疎化等をも見据えた新たな取組として多久市としても本計画に取り上げてもっと推進すべきと思いますが、如何でしょうか？</p>	<p>現在、多久市まちづくり協議会かつやく隊（以下「かつやく隊」）が、ドローンを使ったまちづくりに令和2年度から取り込まれ、ドローン物流の実証実験もかつやく隊主体で行われています。</p> <p>市は取り組みへの支援を行っている状況であり、今後もドローン物流等の研究を進めます。</p> <p>ご意見の件につきましては、かつやく隊がまちづくりの取り組みとしてご尽力されている状況であるため、今後とも活動のサポートを行います。</p>
1 1	<p>50頁の『地域間交流・国際交流の推進』を更に進めるために、志田林三郎が学んだイギリス・グラスゴー市との『姉妹都市』提携に向けて取り組んだら如何でしょうか？『中国・孔子・論語』以外においても地域間交流を拡大すべきと思います。</p>	<p>国際交流を進める上で、必ずしも「姉妹都市」締結が必要とは考えておりません。今後、志田林三郎の功績を顕彰していく中で、必要性を踏まえて検討します。</p>
1 2	<p>59頁の『地域福祉の充実』においては、民生委員・児童委員だけではなく各区の『区長』も参画も必要ではないでしょうか？</p>	<p>地域福祉の重要な担い手として、民生委員・児童委員が厚生労働大臣より委嘱を受けて活動されています。市は、この民生委員・児童委員の活動に必要な情報提供や研修などの支援を行っています。</p> <p>また、地域福祉には、区長をはじめ、地域の役員、地域住民のご理解、ご協力が不可欠です。役割分担の項目に、自治会、地域など、ご協力をいただきたい事項について記載しています。民生委員・児童委員だけでなく、地域の方々も一緒に参画しての推進が必要と考えており、市は関係団体と協力して、その活動の支援に取り組みます。</p>
1 3	<p>81頁の『緊急情報メール登録者を増やすために広報活動を実施』とありますが、広報活動だけではなく各地区における登録説明会などを行わないと『目指そう値』の1000人達成は難しいと思いますが？</p>	<p>現在、自主防災組織や各種団体が実施する防災訓練や防災教室などの機会を活用し登録に向けた説明を行っています。今後も広報活動と併せて取組を継続させたいと考えています。</p>
1 4	<p>市役所の管轄である『市道・公衆用道路・法面・里道・林等の維持管理』についての記載をしてほしいと思います。</p>	<p>P93, 94 に市道に関する記載をしています。市道認定されている舗装、法面、その他道路付属物は維持管理及び整備を行います</p>

		<p>が、認定外の公衆用道路で個人名義の部分は、市で管理を行う事はありません。</p> <p>また、P99 の一部を次のように修正します。「●森林の持つ … 維持・発揮するため、<u>林内路網(林道等)の基盤整備及び適正な維持管理を行い、… 高性能林業機械の活用と林内路網整備</u>による生産コスト削減や間伐材の有効利用を促進します。」</p>
15	<p>109頁にある令和6年度の観光入込客数60万人の目標の詳細はどうなっているのでしょうか？(施設毎・季節毎・イベント毎などの目標と実績)</p> <p>5年間で5万人増という目標値は低いのでは？</p> <p>また、『体験型観光の利用者数』の令和6年目標値が80人とはあまりにも低すぎませんか？</p>	<p>令和元年の観光入込客数の実績は553,919人です。内訳は、「多久聖廟、朋来庵、市内ゴルフ場、公園、多久まつり、多久山笠、多久市郷土資料館、大平庵酒蔵資料館、専称寺、あいぱれっと、タクア」の利用者の総数です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中、観光分野が非常に厳しい状況にありますが、インバウンド観光客や修学旅行客の増を目指す目標値を設定しています。</p> <p>また、体験型観光の利用者は令和元年の74名から約10%アップを見込んでの数値としています。個人利用者をターゲットとしているため、この数値を目標値としています。</p>
16	<p>110頁の『地域活動・コミュニティ活動の充実』ですが、市内の区の衰退が進んでいます。少子高齢化・人口減・関心度低下・役員へのなり手不足などで存続が危ぶまれる状態も見受けられます。市としても持続的な区運営の為の積極的なサポートを行ってほしいと思います。</p>	<p>行政区の運営については、嘱託員とコミュニケーションを図りながら、必要なサポートを行います。</p>
17	<p>『空き家バンク成約数』に対する市としての活動は具体的には何か？(成約のために市が関わっていることはなにか？)</p> <p>また、『管理不完全な空き家新規相談件数』の目標値が令和元年実績値(20件)より低い『10件』とは、空き家が増加している現状からすれば、前向きな姿勢ではないと思いますが？</p>	<p>空き家の情報窓口として、貸し手と借り手に必要に応じ情報を提供します。市ホームページのほか、大手不動産事業者と連携し「全国版空き家バンク」に物件情報を掲載し、広く周知を図っています。</p> <p>また、空き家バンクに登録されている家屋を取得された方を対象とする「リフォーム補助金」を創設しています。</p> <p>空き家の適正な管理について啓発を行う</p>

		<p>ことで、管理不全な空き家に関する新たな相談を減少させることを目標としています。</p>
18	<p>『汚水処理人口普及率』の目標値が前回目標の58.6%から58.8%に微増となっている理由は何か？</p> <p>また前回は『水洗化率 84.4%』の目標があったが今回はその目標が無いのは何故か？</p> <p>市内における下水・水洗普及は都会からの移住希望に応えることや衛生面、河川の浄化等にとって重要と思うが、如何でしょうか？</p>	<p>第4次総合計画における令和2年度の汚水処理普及率の目標値は58.6%としていましたが、令和元年度までの公共下水道事業の整備では多くの幹線管渠整備が必要となり面整備が伸びず、令和元年度の普及率実績値は56.9%と低くなりました。</p> <p>第5次総合計画の目標値は令和元年度の実績値56.9%から今後の面整備計画及び人口減少を勘案し設定しているため「微増」となっています。</p> <p>水洗化率は「整備地区の人口に対する数値」であり、普及率は「市内全体での率」とされています。一般的に公表されている数値(国、県)は普及率であるため、本市においても普及率で統一したいと考えています。ご指摘のとおり、水洗化の普及は衛生面、河川の浄化等に重要であり、今後も普及促進に努めます。</p>
19	<p>前回は観光振興の目標となる『名物料理開発数・物産展等への出店店舗数・ボランティアガイド登録者数・観光消費額』などが目標としてあった。</p> <p>⇒ 今回はその目標が無くなっている。多久市観光振興協議会の活動を縮小することにつながるのか？</p>	<p>前回までの成果指標に関しては、一定の成果を得たため削除しています。今回の指標(「観光ボランティアの案内人数」)は、今後の観光振興の指標としてわかりやすいことから変更しています。</p> <p>多久市観光振興協議会の活動が縮小しないよう、3部会(名物料理土産部会、観光地部会、イベント部会)での各種施策の実施により、多久市の観光振興を展開したいと考えています。</p>
20	<p>『統合型地域スポーツクラブ【多久スポーツピア】加入者』</p> <p>⇒ 目標が900人と、平成元年実績の949人より減っている理由は？</p>	<p>令和元年度会員数949人のうち、市外居住者は106名と例年より非常に多かった。市外居住者は、ジュニアサークルへの入会以外は不確定要素が多いため、市内居住者をターゲットとした数値目標を設定しています。会員数の微増は人口減少を加味し、実</p>

	<p>⇒ 一方で、『ピアサークル指導者数』は令和元年実績25人から40名に増加している理由は何か？</p>	<p>績よりもやや低めに設定しています。</p> <p>ピアサークル指導者数は、ジュニアサークルの指導者が増加傾向です。</p> <p>今後、やりたいスポーツを学べる環境整備のため、後期課程部活動の社会体育化(スポーツピアへの移行)を推進し、学校の先生の指導者登録を随時行っていくことを予定しており、増加を見込んでいます。</p>
21	<p>『資料館入館者数』で、前回目標が13,000人であった。</p> <p>⇒ 令和元年の実績が7,697人と目標達成できなかった理由は何が大きいのか？</p> <p>⇒ また、新しい目標が『8,800人』と少ない！平成26年実績の12,819人であったのを踏まえてもっと資料館を沢山の人に利用してもらえるような取り組みをすべきではないか？</p> <p>⇒ 資料館と図書館の統合を検討したら如何でしょうか？</p>	<p>11月の紅葉まつり時の観光客の減(前年比△10%)と、3月に新型コロナウイルス感染症予防対策で入館制限を行ったことが要因と分析しています。</p> <p>資料館は特別企画展への市外県外利用者が多く、著名な人物やコアなファンが多い対象物の企画展であれば入館者が増える傾向にある一方、市内利用者は少ない傾向にあります。</p> <p>今後、市内利用者の増加を図るため、市民の文化財保護の意識付けや郷土愛の醸成につながるよう、郷土資料の展示を行うことを考えています。</p> <p>ご提案の「資料館と図書館の統合」は、施設の有効な活用・整備方法を含め、将来的に研究していきたいと考えています。</p>
22	<p>市役所としての広報の指標となる『市HPへの訪問者数・SNS登録者数・SNSでの情報発信数』などの目標値が低すぎると思います。</p> <p>⇒ 市職員のSNS登録・発信状況はどうなのでしょう？</p> <p>⇒ 市内・市民における『IT化』の目標値が示されていないが？</p> <p>【参考】Facebookの『いいね!』数の比較(令和3年1月14日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多久市役所・・・896人</li> <li>* 伊万里市役所・・・930人</li> <li>* 武雄市役所・・・34,910人</li> </ul>	<p>利用者ニーズに合った情報発信に心掛け、工夫や努力により達成可能な数値を目標値として設定したところです。</p> <p>現在、職員のSNS利用は個人の判断によるものであり特に把握はしていません。</p> <p>また、市内・市民における『IT化』の目標値としては「SNS登録者数」「マイナンバーカード取得率」を目標値としています。</p>

	(ダントツ!) ◆武雄市長の投稿に対する反応も多い!	
23	<p>『市議会傍聴者数』</p> <p>⇒ 平成32年度目標が『120人』となっていました。実績は何人だったでしょうか?</p> <p>⇒ 今回はその目標がありませんが、何故でしょうか?</p> <p>⇒ 議会と市民の交流する機会をもっと大胆に増やすべきと思いますが如何でしょうか?年1回の議会報告会だけでは十分では有りません。このままいけば、市民の議会離れが加速します!</p> <p>⇒ 前回は『市民の市議会に対する理解を深めるため、市議会の情報公開の促進など、議会の改革改善の取り組みを支援』という項目が有りましたが、第5次では議会に関しては何も有りません。何故『議会』の項目を削除されたのでしょうか?</p>	<p>令和元年度：74人 令和2年度：87人（11月定例会まで）</p> <p>ご意見のとおりと考えます。</p> <p>市民に開かれた議会を目指し、市民との意見交換の機会を増やすなど、議会への多様な市民参加を促進するための支援を今後も議会事務局としては行います。</p> <p>総合計画は、執行機関としての市が目指すべき将来像とそれを実現するための基本方針や施策の大綱を示すものです。議決機関である議会とは、職務機能が分担されていますので、今回見直しを行い、記載していません。</p> <p>しかしながら、地方分権の時代を迎え、議決機関としての議会の果たすべき役割は大きくなっており、市民の期待も高まっています。市民の負託に応え、市民に信頼される議会を築くために議会事務局として、これからも引き続き議会運営の支援を行います。</p>
24	<p>『中学校における不登校者数』</p> <p>⇒ 前回目標の『1.1%』に対し令和元年の実績が『5.0%』と増加したのは何故か? 小中一貫校になって中1ギャップの解消などを目指したのに理解できませんが。</p>	<p>第4次計画策定時の数値目標では、不登校の要因を主に「中1ギャップ」として設定していましたが、現在は殆どありません。</p> <p>近年の不登校を招く要因は様々であり、複雑化している状況を鑑み、体調不良等の訴えで一定の欠席が見られる生徒も「不登校」としてカウントするようにしています。</p> <p>前期課程から継続し、情緒的な人間関係などの要因によるケース、転入前からの不登校傾向から登校に至っていないケースもあります。</p> <p>これらから、令和元年度末時点で5.01%</p>

		<p>(22人)を把握しています。</p> <p>一人ひとりに対策を講じ、登校へつなげることに力を注ぐため、今後も関係機関と情報共有し、個々の状況に合わせた適切な対応を進めていきます。</p>
25	<p>市税収の伸びが期待できない状況の本市は『ふるさと納税制度』をもっと活用すべきと思います。</p> <p>⇒ 『ふるさと応援寄付者数』の目標値を令和元年の実績36,000人と同じに設定している理由は何故か？</p>	<p>ふるさと応援寄附への取り組みが最も効果的に表れた令和元年度水準を維持することとしています。</p>
26	<p>第5次多久市総合計画を具現化するための目標である『みんなで目指そう値』を見ると『きらりと光るまち』を標榜するところがどの分野のどこなのか判りません！</p> <p>多久市の将来像には『小さくてもきらりと光るまち』とありますが、これはどのようなことなのでしょう？昨今の情報社会や自治体間の競争が激しい中で『小さなきらり』では注目されず、埋没し『きらり』と光らないのでは？もっと大胆なメッセージが必要なのでは！</p>	<p>様々な分野において、小さな自治体であっても新しい時代の要請にもしっかりと対応できること、一人一人の市民も個性や才能を伸ばして輝く人生を過ごすことができるような社会を目指すことを意図しています。</p>
27	<p>『目指そう値』の設定が甘いと感じられる項目が多いように感じます。そこそこの取り組みでも達成できそうな項目も見受けられます。達成感を味わえるような目標設定にすべきではないでしょうか？</p>	<p>各施策分野の現状を見据え、値の性質により「上げる・下げる・上昇下降を抑制・現状維持」などを熟慮し、実現可能と考える数値を設定しています。</p>
28	<p>客観的な評価が出来るように、各施策に達成目標を設定し公表すべきではないでしょうか？（示されている成果目標のすべてが明らかではないし、単なる文字による目標表現となっているのが多い。これでは客観的な評価ができないのでは？）</p>	<p>可能な限り数値を用いた成果指標を設定していますが、定量的に進捗状況を把握できない性質のものは、定性的な目標を設定している場合もあります。</p>
29	<p>116頁に『3 広聴活動の充実』として、【「市政報告会」を開催し、市が取り組んでいる諸施策等についてわかりやすく説明し、市の施策に対する市民の理解や信頼を深めます。】とあります。</p> <p>⇒ 最近の数年間、各町公民館において</p>	<p>広聴活動として、これまでは市長と語る</p>

	<p>『市長と語る会』の開催がありませんが、開催しなかった理由は何でしょうか？</p> <p>⇒ 『議会報告会』は年1回の開催を条例で規定されていますが、『市政報告会』は、その様な規定がありません。条例で定めるお考えはありますか？</p> <p>⇒ 市長や市役所の考えや各事業の推進を市民に説明し理解を深めることは自治体運営の基本中の基本と思います。是非、有限実行でお願いします。</p> <p>⇒市議会へ上程される『議案』やメディアへの発表内容はそれと同時に市HPへの掲載をお願いします。</p>	<p>会やワークショップ形式での広聴事業のほか、市政報告会形式で市民の関心が高いテーマや重要施策について説明し、ご意見やご要望をいただけてきました。</p> <p>各町公民館では参加者が少なかった点と市長が市内の様々な地区行事に参加する中で、直接ご意見やご要望を伺っている状況もあり、市長と語る会は開催に至っていません。</p> <p>また、現在は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、人を集めての取り組みは難しい状況がありますので、ICTを活用しリモート形式での広聴事業を実現すべく検討しています。</p> <p>さらに、昨今の新型コロナウイルス感染症対策関連の重要事項については、動画によりケーブルテレビやYouTubeでの発信を行っています。</p> <p>市政報告会は必要に応じ開催することを想定しており、条例で定める予定はありません。</p> <p>議案等の資料は現在、市議会開会後に市ホームページに掲載しています。ご要望にお応えできるよう努力いたします。</p>
30	<p>118頁に『自主財源を確保』とあります。</p> <p>⇒ 自主財源とは、『市税(所得税・法人税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税など)、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入』のことですが、人口減が予想される本市に於いて自主財源確保はどのような手段で確保されるお考えでしょうか？</p> <p>⇒ 自治体が独自に調達できる財源となる</p>	<p>「市税」については、産業の活性化や定住促進による税の確保、また、徴収率向上に取り組む、「使用料」においては、受益者負担を原則とし、必要に応じ見直しを行います。また、市有財産の売り払い、貸付け、広告事業の充実等に取り組めます。</p> <p>「ふるさと応援寄附事業」として、地場産</p>

	『ふるさと応援寄付』の拡充・増に向けての具体的な取り組みや目標金額どの様にお考えでしょうか？	品活用の返礼品拡充やPR、寄附活用事例の発信による寄附者の獲得など、寄附の受け入れ拡大に取り組んでいます。ご厚意による寄附という性質上、目標金額は設定していませんが、最も受入額が大きい令和元年度水準の維持に努めています。
3 1	<p>1 1 9 頁の『施策目標 8：市民が築く 一開かれた自治体経営と持続可能なまちづくりの役割分担』に、【市民：行政が行うべきことと、市民が自助努力で行うべきことは何かを明確にして、市民ができることは積極的に行います。自治会・地域：団体運営について、補助金等を財源としている組織運営を見直し、自立運営に努めます。】とあります。</p> <p>⇒ 『市民が出来ること』をまず市が提示し市民の理解と納得を得ることが大事だと思いますが、如何でしょうか？</p> <p>⇒ 補助金を財源としている団体等は市内にどの程度ありますか？ 『見直し』は具体的にどの様に行いますか？</p>	<p>補助金等を「団体運営費の大部分、一部」「一部の対象事業費」の財源としている団体等は大小多数です。</p> <p>毎年度実施する行政評価において「十分に機能しているか」「有効的に事業実施できているか」などの評価から進めて行くことを予定しています。</p>
3 2	<p>益々『高齢化・独居化』は進むものと思います。『高齢者の福祉』とそれを支える『若者世代の育成』のために、『福祉人材を育てる場』を新たに設ける事を提案します。</p> <p>*介護福祉・理学療法・作業療法等の福祉専門職の育成</p> <p>*全国から募集し、寮も完備！</p> <p>*就職は市内の各種施設に優先的に！</p> <p>*若者が当市に定住し、自身の資格・能力を活かせる場に就ける。また、カップルも生まれ、子どもも増える！</p>	市単独での教育養成機関の設置は困難と考えますが、県内にある大学の学生実習機関の協力を行っています。実習から多久市への就職につながればと考えています。
3 3	<p>市民アンケートにおいて『工業・商業・観光の振興は満足度が低い』との結果で、前回（5年前）と同じ様な状況が続いています。本計画ではこの課題にチャレンジするような施策が見当たらないように思います。</p> <p>⇒ 『ランチェスター戦略』の導入</p>	<p>本計画には工業・商業・観光の振興に関してチャレンジするような施策を明記しておりませんが、</p> <p>「工業」では、令和元年度に2社、令和2年度に2社の企業誘致を行っており、今後も成長が見込める分野の製造業等をはじめ、</p>

	<p>⇒ マスタープランの5頁にある『伸びている職種・商品を更に伸ばす』</p> <p>⇒ 『テイクアウト・デリバリー』事業の展開</p> <p>⇒ 中核商業施設に『飲食エリア』を併設する。(フードウェイ・新鮮館・納所交流センター・など)</p> <p>⇒ ジョイフル・ツタヤ跡地の利活用(料理教室、IT学習塾など)</p>	<p>IT関連産業を中心とする事務系企業等の誘致に取り組んでいきます。</p> <p>「商業」では、多久市商工会等と連携し、市内事業者が求める時節に応じた施策を実施します。</p> <p>「観光」では、「近きもの説ば遠きもの来る」のコンセプトにより地元の方々と協働し、観光振興に努めたいと考えています。</p> <p>また、ご提案の「チャレンジするような施策」は、今後の施策に向け研究させていただきます。</p>
3 4	<p>10年後の多久市を目指す(素晴らしい姿)のための不退転の覚悟を市民に示してください! 達成に向けての経営資源である『ひと・もの・かね・情報』の『見える化』や年度ごとの市予算と総合計画の紐付け、そのための市長の覚悟表明が必要だと思います。市民の危機意識が薄いのを払拭するためにも市長の力強い覚悟表明が必要と思います。それがあって、様々な計画への『市民の理解』が深まり、『協働の動きへの機運』が高まるものと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>
3 5	<p>第5次多久市総合計画の主旨や目標達成のための『市長の権限と責任』を明確にすべきだと思います。重要な計画なのに、その推進役が不明確だと感じます! 横尾市長は、『市長職』を託されているわけで、また日頃から『多久市のCEO』と言われています。市長の強いリーダーシップを期待します。(『CEO』とは、経営に関する業務のすべてを統括し、また全責任を負う)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>
3 6	<p>以下、『第5次多久市総合計画(案)』に対して感じたことです。</p> <p>(イ) これからの多久市が『目指す方向としての基本的な考えと各計画の内容』は『現在の状況』と照らし合わせて見ると、市の特性や地域資源があるとしても、かなり達成が困難と思えます。ただ、指標値達成は目標値が低いので、達成するかも</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>

	<p>しれませんが。</p> <p>(ロ) 多久市の人口が現在約18千人、これから先の見通しでも増えることがなく、佐賀県の10市でも最低の人口、みやき町、白石町、有田町の人口より少ない状況です。【市】としての『要件』を満たしていないと云う現況を果たしてどれだけの人がその認識をお持ちなのでしょう？</p> <p>(ハ) 『総合計画』だから全ての分野を網羅しなければならないのは理解できますが、一方で多久市の厳しい状況を踏まえて、多久市が目指すべきは『身の丈にあった姿』にすべきではないでしょうか？ 市民に甘くない現実を知らしめるのも市の重要な使命ではないでしょうか？ 従来のように全ては出来ない、即ち これからは『必ずやるべきこと・やれないことの市民コンセンサス』を取り、足が地についた新たな計画と目標に向かって市と市民が奮闘することが大事と思います。</p> <p>(ニ) しかし、その厳しい状況を判りながらも、この計画(案)を多久市の目指す姿として押し進めるのであれば、市長と市は今以上の強力なリーダーシップと責任感を持って、市民の認識を高め、その理解と協働を得る動きを不退転の覚悟でしていただきたいと思います。それぐらいの危機感と期待感を、私はこの多久市に抱いています。</p>	
--	--	--